

「令和4年度 国の施策・制度に関する提案・要望」に係る国土交通省への要望について

令和4年度の国の予算編成に向けて、本市の将来にとって特に重要な施策に係る国の施策・制度に関する提案・要望項目を取りまとめた、「令和4年度 国の施策・制度に関する提案・要望書」について、次のとおり国土交通省への要望活動を行いますので、お知らせします。

- 1 実施日時 令和3年9月16日（木）午前10時30分
- 2 要望先 赤羽 一嘉 国土交通大臣
- 3 要望者 本村 賢太郎 相模原市長
- 4 要望場所 国土交通省（中央合同庁舎3号館）
- 5 要望内容
「令和4年度 国の施策・制度に関する提案・要望」（別添資料参照）
 - ・都市基盤の長寿命化、災害対策の推進に向けた財政支援等
 - ・広域交通ネットワークの強化に向けた道路整備
 - ・広域交流拠点の形成に向けた財政支援等の拡充
- 6 取材について
取材を希望される場合は、9月15日（水）正午までに、別紙取材申込書により、政策課宛てにFAX（042-754-2280）でご連絡ください。
また、取材に当たっては、腕章の着用をお願いします。
- 7 その他 都合により日程等が変更される場合があります。

問合せ先
政策課 電話：042-769-8203

送付書不要
FAX：042-754-2280

相模原市市長公室総合政策部政策課 宛

取材申込書

(9月16日 相模原市長 国の施策・制度に関する提案・要望)

※令和3年9月15日(水)正午までに御提出ください。

■報道機関名

■人数

代表者氏名	人数
(ふりがな)	人

■要望終了後の取材

希望する

希望しない

■連絡先

電話番号

FAX 番号

Eメールアドレス

問合せ先

相模原市市長公室総合政策部政策課

電話 042-769-8203

FAX 042-754-2280

電子メール seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

令和4年度
国の施策・制度に関する提案・要望書
(国土交通省関連要望抜粋)



相模原市

相模原市政の推進につきましては、日頃から格別の御理解、御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市は、首都圏南西部をリードする広域交流拠点都市として、防災・減災対策をはじめ、福祉、医療、教育の充実など市民サービスの向上を図るとともに、産業振興、環境保全、交通基盤の整備など幅広い分野において施策を推進することにより、「地域への愛着と誇りを持てるまちづくり」を進めています。

今後、急速な少子高齢化の進行や本格的な人口減少社会を迎える中、民間活力の活用や事務事業の精査により歳出の削減を行い、都市基盤整備や産業集積により税源の涵養を図るとともに、本年4月には「相模原市行財政構造改革プラン」を策定し、将来にわたり持続可能な都市経営に向けた取組に着手しているところですが、医療や介護等の社会保障に係る経費の増大や公共施設の老朽化への対応に加え、令和元年東日本台風の被害からの復旧・復興や新型コロナウイルス感染症への対策など多くの課題を抱えており、引き続き、厳しい財政運営が続くことが見込まれます。

本提案・要望書は、本市が今後も首都圏南西部の広域交流拠点都市として自立した行財政運営を行うに当たって、国において制度及び予算などについて、御検討、御協力をお願いしたい事項を取りまとめたものです。

つきましては、国におきましても多くの政策課題を抱え、財政も厳しい状況にあることは承知しておりますが、本市の提案・要望につきまして特段の御配慮をお願いいたします。

令和3年9月 相模原市長

本村賢太郎

提案・要望事項 目次
(国土交通省関連抜粋)

《国の施策・制度に関する提案・要望》

【国土交通省】

- 3 4 都市基盤の長寿命化、災害対策の推進に向けた財政支援等【継続】 3 8
- 3 5 広域交通ネットワークの強化に向けた道路整備【継続】…………… 3 9
- 3 6 広域交流拠点の形成に向けた財政支援等の拡充【継続】…………… 4 1

34 都市基盤の長寿命化、災害対策の推進に向けた財政支援等

国土交通省

【提案・要望事項】

道路や下水道などのメンテナンスサイクルの推進や災害対策に必要な財源について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、新たな制度で予算措置されたが、今後も引き続き確実に財源を確保し、技術的支援についても充実させること。

【提案・要望の説明】

本市では、道路・橋りょう、下水道等の土木施設について、長寿命化計画や耐震化計画を策定し、維持管理に係る費用の平準化、適正な管理に努めているところです。土木施設の老朽化は、今後さらに進むため、計画的な予防保全型の維持管理がますます求められ、財源確保が必須条件となります。

また、本市は令和元年東日本台風に伴う土砂災害等からの早期復旧・復興に向けて尽力をしているところですが、市民生活の安全・安心を守るためには未然防止の取組が肝要であり、災害防除事業などを計画的に実施していく必要があります。

さらに、本市は令和2年3月に「下水道事業経営戦略」を策定し、下水道施設の機能を効率的・効果的に維持するため、投資計画と財政計画の調和を図りながら計画的な下水道経営に取り組んでいます。

これらの事業において、防災・安全交付金や道路メンテナンス事業補助、浸水対策下水道事業補助等の支援をいただいておりますが、将来にわたり市民生活の安全・安心が確保できるよう、公共事業関係費枠（防災・安全交付金等を含む。）の増額及び安定的な財政的支援の充実を要望します。

また、メンテナンスサイクルを効率的に推進するためには、人材育成や新技術の開発が必要であり、国においては研修等を実施していただいておりますが、より多くの職員が受講できるよう、Web を活用した講座を増やすなど、研修を更に充実させるとともに、新たな点検・工事手法を開発するなどの技術的支援を要望します。

【提案・要望の担当】

都市建設局道路部路政課長	大貫 勝	Tel042-769-8359
都市建設局下水道部下水道経営課長	櫻井 敏朗	Tel042-707-1840

35 広域交通ネットワークの強化に向けた道路整備

国土交通省

【提案・要望事項】

- 1 国道16号の効果的な渋滞対策の実施など、一般国道（指定区間）の機能強化を早期に図ること。
- 2 圏央道インターチェンジへのアクセス道路である県道52号及び津久井広域道路の整備について、十分な財政措置を講ずること。

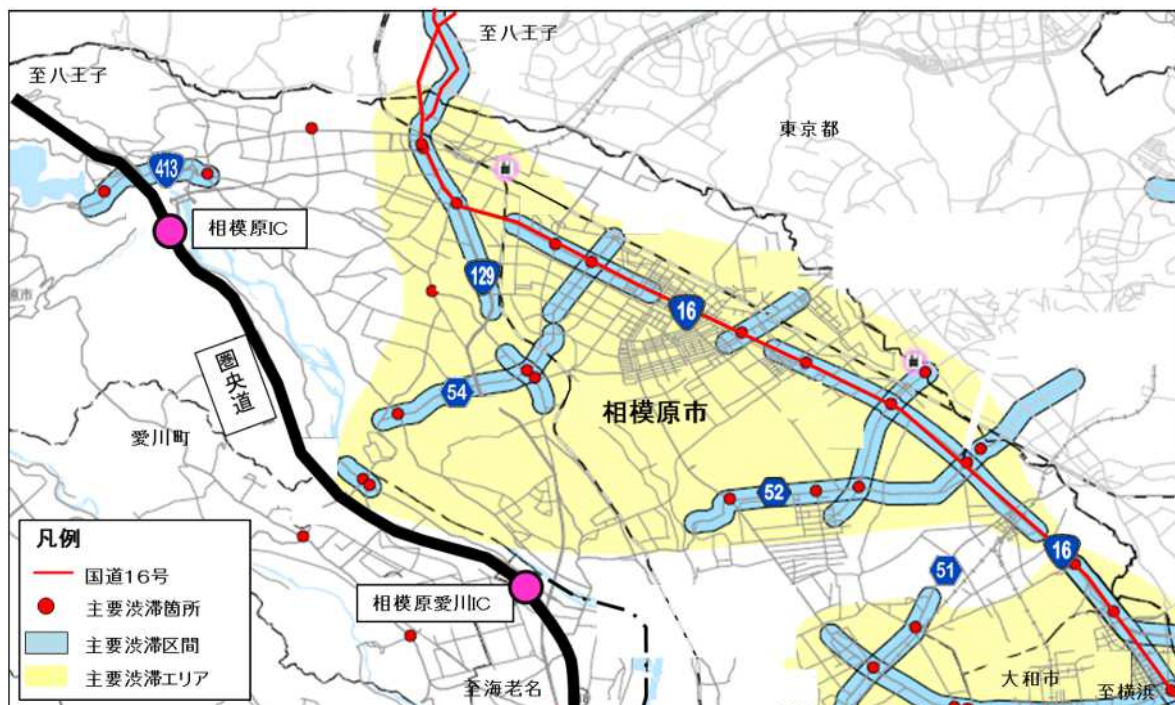
【提案・要望の説明】

1 一般国道（指定区間）の機能強化

国道16号は、「東京環状」とも呼ばれ、横浜市、相模原市、八王子市、さいたま市、千葉市など主要な都市を結ぶ重要な道路ですが、相模原市内においては主要渋滞箇所が多数存在しており、今後、国道16号に近接する橋本駅周辺のまちづくりにおいても課題となっております。

このことから、本市の骨格を形成する広域幹線道路網の機能を十分発揮し、社会的役割を効率的に担うため、国道16号の効果的な渋滞対策の実施など、一般国道（指定区間）の機能強化を早期に図るよう要望します。

相模原市内の主要渋滞箇所（出典：首都圏渋滞ボトルネック対策協議会資料を一部加筆）



36 広域交流拠点の形成に向けた財政支援等の拡充

国土交通省

【提案・要望事項】

リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺地区と、米軍基地である相模総合補給廠の一部返還地等の早期利用や小田急多摩線延伸に取り組む相模原駅周辺地区を一体的な広域交流拠点とするまちづくりに対する財政支援等を拡充すること。

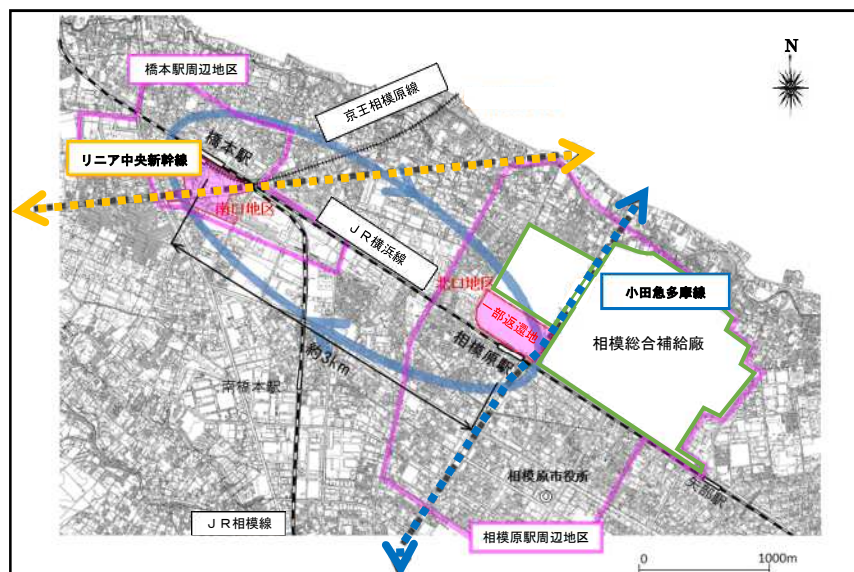
【提案・要望の説明】

本市は、リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）が設置される橋本駅周辺地区と、相模総合補給廠の一部返還地等の早期利用や小田急多摩線の延伸に取り組む相模原駅周辺地区を一体的な広域交流拠点とするまちづくりを進めています。

橋本駅周辺地区では、リニア中央新幹線の開業を見据え、産業の活力と賑わいがある交流拠点の実現を目指し、土地区画整理事業や街路整備事業に向けた取組みを、相模原駅周辺地区では、今後の発展の起爆剤となる新市街地の形成を図るべく、返還地の土地利用に向け、導入施設や整備手法の検討を行うとともに、小田急多摩線の延伸に取り組んでいます。

これらの取組は世界を先導するスーパー・メガリージョンの形成に資するものであることから、広域交流拠点の確実な整備の推進には国による力強い支援が不可欠であり、国の公共事業関係費枠の増額による財政的支援の充実のほか、小田急多摩線の延伸については、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保など延伸の早期実現に繋がる支援を講じていただくよう要望します。

広域交流拠点（橋本駅周辺地区・相模原駅周辺地区）位置図



【提案・要望の担当】

都市建設局広域交流拠点推進部リニア駅周辺まちづくり課長	杉浦 篤	TEL042-707-7047
都市建設局広域交流拠点推進部相模原駅周辺まちづくり課長	小川 裕一	TEL042-707-7026
都市建設局まちづくり推進部交通政策課長	島崎 俊介	TEL042-769-8249

令和4年度
国の施策・制度に関する提案・要望書

相模原市 市長公室 総合政策部 政策課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
TEL 042-769-8203 FAX 042-754-2280
seisaku@city.sagamihara.lg.jp